



中部地域交流会世話人会報告 20160116

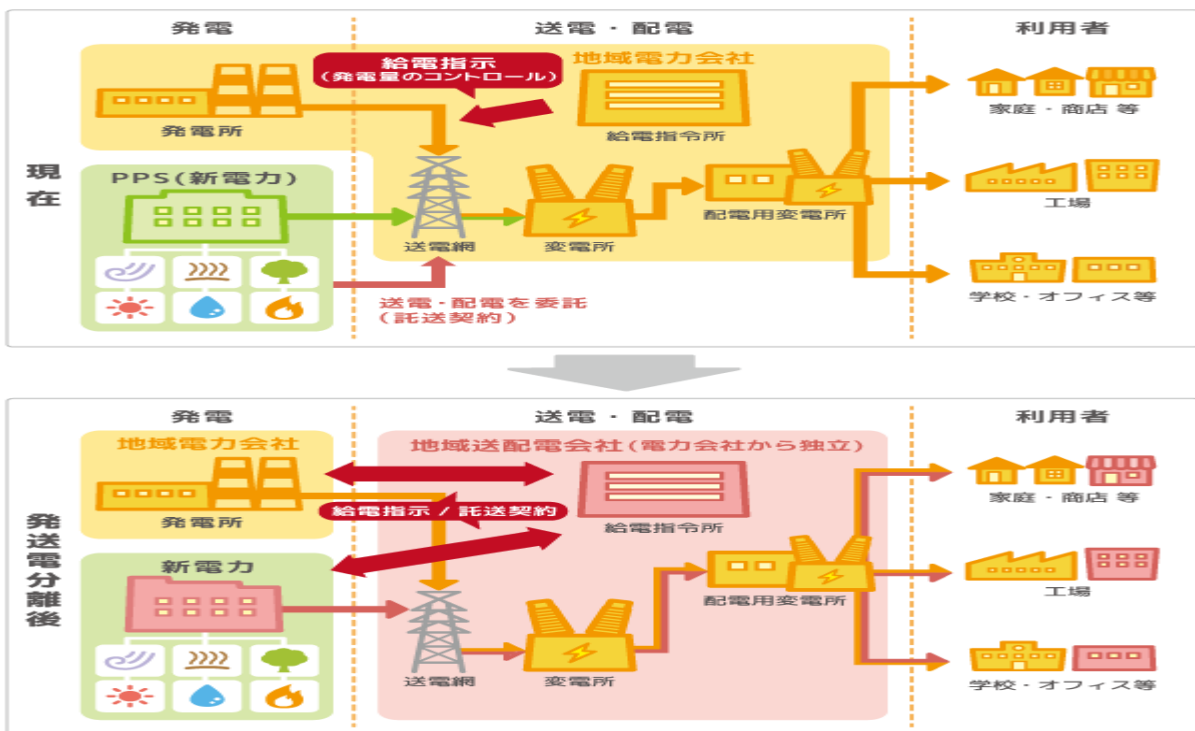
毎月の世話人会報告です。1月は「電力自由化への対応」と「ペラнда発電」が中心議題でした。

◎ 電力自由化

これまで電気は電力会社（中部電力）でしか契約できなかったのが、2016年4月から契約が50kW以下の利用人も小売電気事業者（以下新電力＝小売電気事業者に登録された事業者）から買えるようになります。事業者を自由に選べるのです。しかし自由化とは「規制緩和で再エネ普及ではありません（2/22 中日新聞）」。私たちの選択は再エネ普及で脱原発の大きな流れをつくることです。

1. 発送電分離とは

今回は発電事業の自由化です。発送電分離とは、電力会社の組織を発電・送配電・小売の3つの事業会社の分割をいいます。電力会社の発電事業の自由化は2016年4月、送配電事業は、2020年4月と閣議決定しました。しかし、日本の電力会社や専門家は「電力の安定供給が脅かされる。電気料金が値下がりした国はない」として発送電分離に反対しています。一方、分離促進論は「発電・送配電の分離を中心に電力の自由化が進めば、価格機能が働くようになり、市場メカニズムを通じて原子力発電への依存は加速的に低下していく」としています。



2. さて、申し込みは

1月から新しい電力会社に申し込みができます。インターネットでも手続きできます。中電への解約手続き、切り替え工事は不要（検針票必要）です。

3. 停電などの心配

電気を送る電線や設備はこれまで通り中電のものが使われて電気を家庭に届けます。そのため、万が一契約した新電力の発電量が不足した場合でも、地域の電力会社が不足分を補う仕組みになっており、停電になったり、供給が不安定になったりすることはありません。

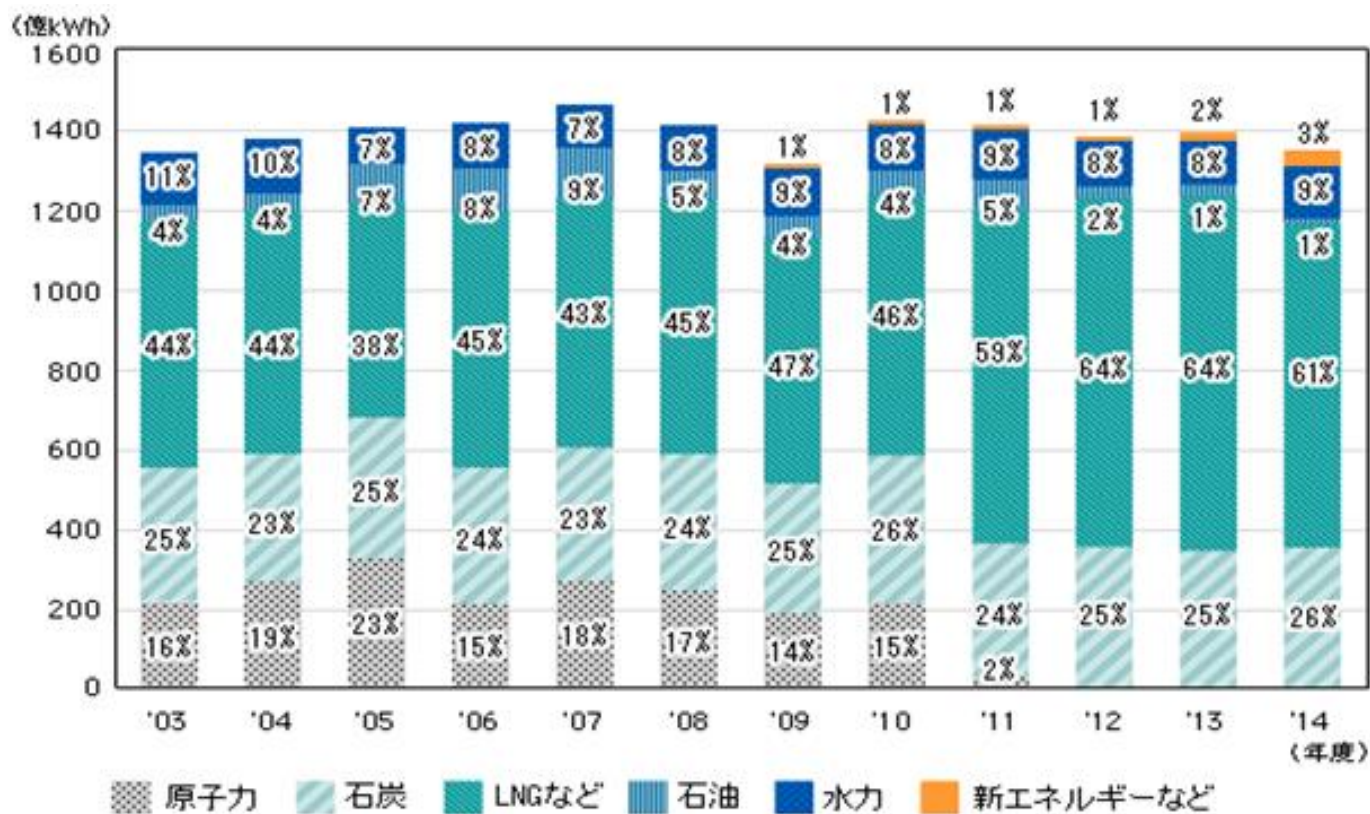
4. 切り替え先電気事業者倒産

小売電気事業者が倒産・撤退した場合「電気の供給が受けられなくなる」そんなことがないように最終的な電気の供給実施が、地域の電力会社（中電）に義務づけられています。2020年3月までの間は、切り替え先の事業者が倒産した場合でも、電気が滞ることはありません。現在の地域の電力会社が設定している標準的な料金メニュー（経過措置の料金メニュー）で電気の供給を受けることができます。したがって2020年までは模様眺めの様相です。

5. 固定価格買取制度（FIT法）

ご存知の通り2009年から10年間、国による住宅用太陽光発電の買い取り（48円/kWh）が決まりました。この法律は、【電気使用量のお知らせ】に“再エネ発電促進賦課金”〇〇〇円とありますが、電力会社が買い取る費用を電気利用者から賦課金という形で集め、再生可能エネルギー促進費用に充てる仕組みです。再エネ発電促進賦課金の制度化は、地球温暖化対策やエネルギー資源の確保、枯渇性燃料への依存度を下げて再生可能エネルギー拡大を促そうとする政策でした。

参考書；http://kakaku.com/energy/articlegroup/?en_articleGroup=1、sansan エナジー114号



6. 震災前と後の電源構成

しかし現実（下表）は、原子力依存度減が化石燃料増となっています。



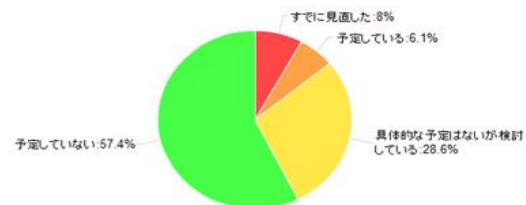
7. それでは震災前と後の家庭の省エネ意識は



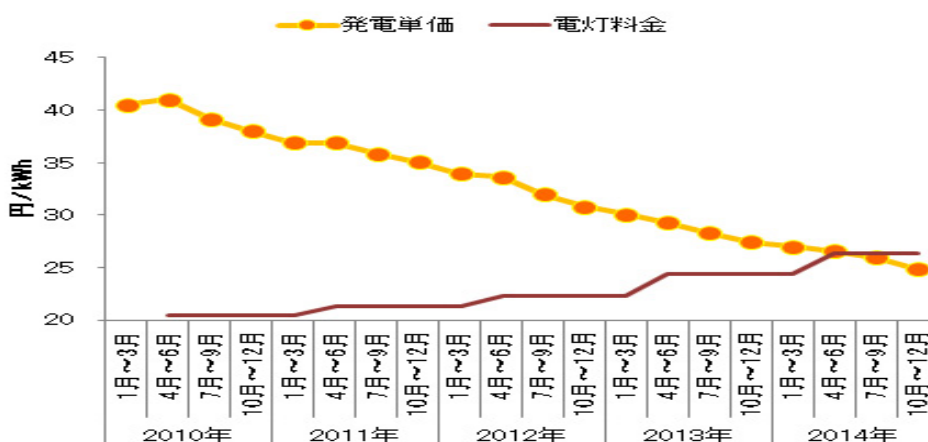
出典；価格.com 調査

上表でもわかるように震災後の省エネ意識は 97%以上と格段に上がっています。

8. どこの電力会社を選ぶか



9. 発電コスト→中電で買うより 太陽光が安い



出典；やっぱり自然エネルギー

10. 新電力の方針

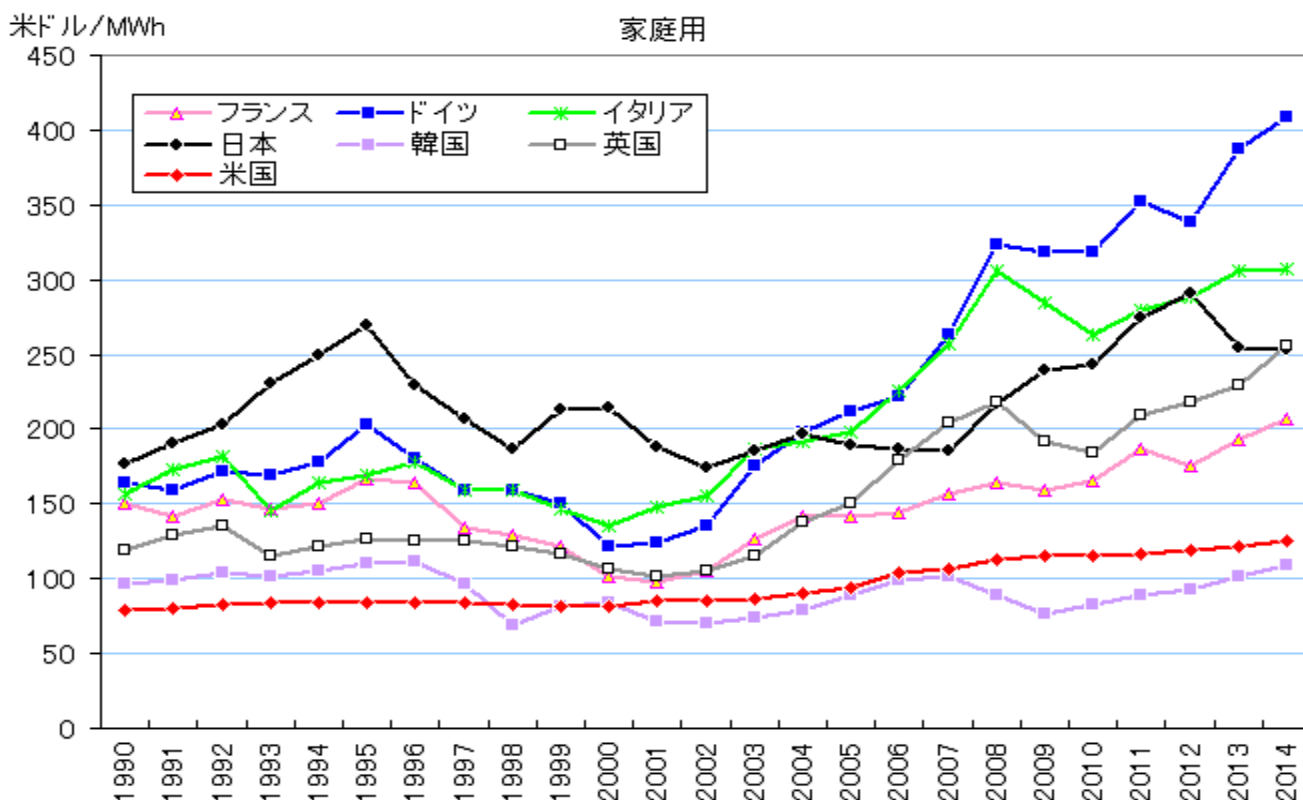
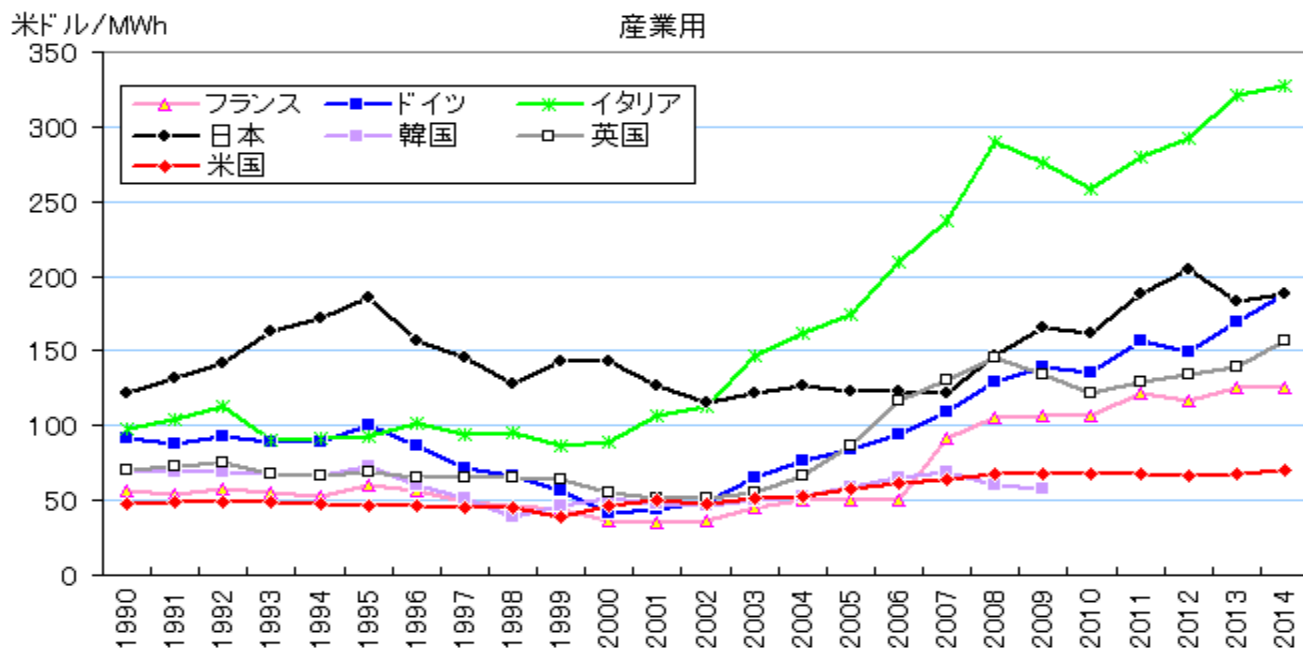
現在の電気料金制度は、70年代のオイルショック、気候変動問題も加わり、使えば使うほど高くなる「三段階料金制度」（家庭用従量電灯料金）になっています。しかし新電力が打ち出した料金メニューは使えば使うほど割安な料金体系が多いという。であればオイルショック以降の節電、省エネとは逆行するものです。電力会社（発電部門）は、総括原価方式が外され大きな再編も想定される。

11. 電気料金の国際比較（産業用と家庭用）

2008年以降は、再度、日本の電力料金は、相対的に高くなっている。また2011年3月には東日本大震災にともなう福島第一原発事故によりほとんどの原発が稼働停止となり、それ以降、化石燃料の調達に頼っているため電気料金も上昇しており、産業用はイタリアに次ぐ2位、家庭用はドイ

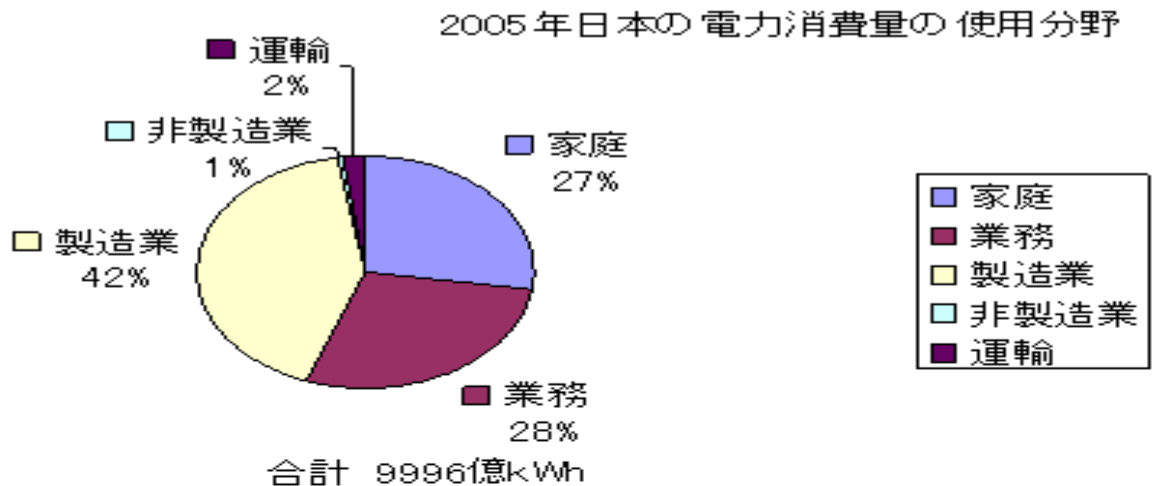
ツ、イタリアに次ぐ3位のランキングとなっている。2013年に入ると円安の影響で価格水準は相対的に下がっており、産業用もドイツとほぼ同じ水準となっている。honkawa/4105.html 引用

電気料金の国際比較

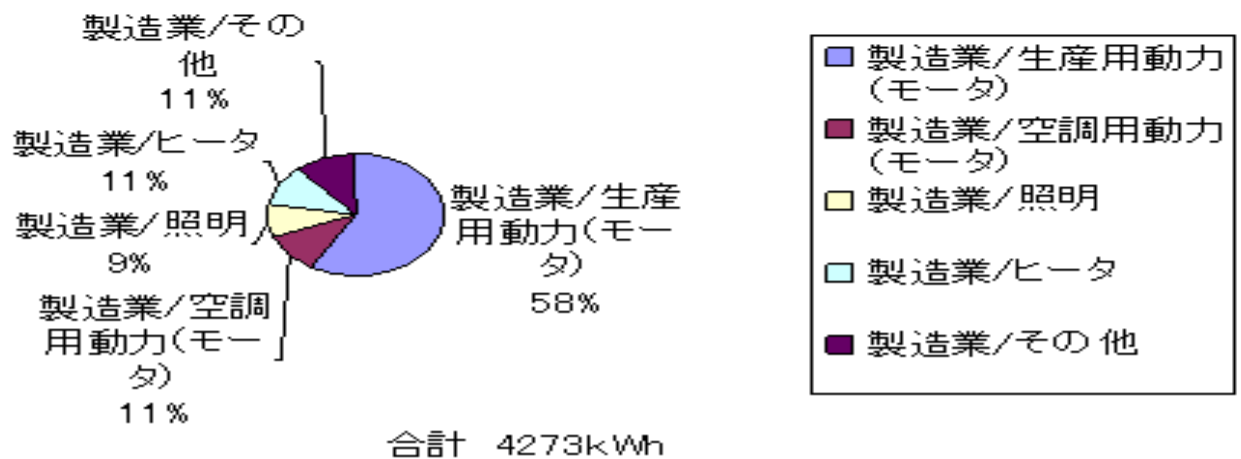


(注) 為替レート換算値。2014年データに関してドイツは2014Q2(第2四半期)、英国産業用は2014Q3の値
 (資料) OECD/IEA, Energy Prices and Taxes, Volume 1999-1/Volume 2005-1/Volume 2015-1

12. 日本の電力消費量



2005年製造業の電力消費量の機器用途内訳



13. 発電した電気は売電せず、自給する暮らしづくり (オフグリッド)

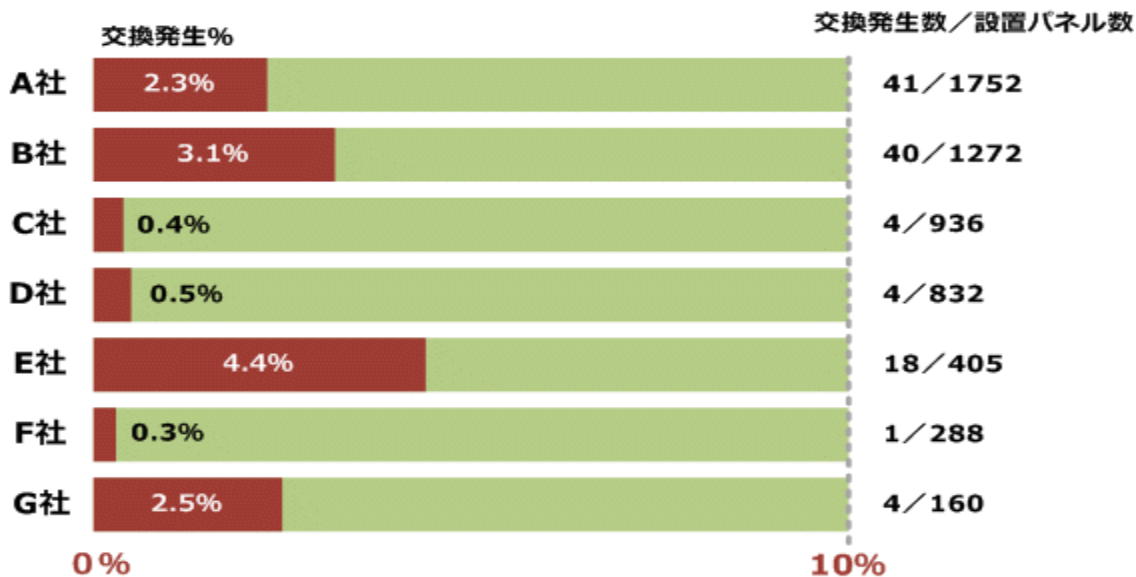
省エネ意識は、7で見たように格段に上がっています。しかし省エネが再エネに向かっているわけではありません。ただ消費の拡大に関心を持たない人々を増やし続けているのは確かです。若い世代の古民家暮らし、新就農者増、コミュニティカフェやコミュニティレストラン経営などの動きは「消費の拡大とともに生きた人たちが、幸せな生を手にいれた」とは思えなくなっている現れのように感じます。だとすればPV-Netが取り組むオフグリッドな暮らしづくりは、小さな世界を基盤にしたともに生き・働き・暮らす社会の再創造であるような気がします。

参考書；内山節著『半市場経済』角川新書

14. メンテナンス

「屋根に太陽光パネルを設置して10年」そんな会員が多いと思います。下表は産総研が設置から5年間で発生したパネルの交換数をメーカー別にまとめた結果です。

メンテナンスはもちろんのこと、会員同士の交流でリユース、リサイクル、蓄エネルギー、省エネルギーの取り組みを本格化したいと思います。



<http://taiyoseikatsu.com/special/mtrouble/mtrouble01.html>

15. 再生可能エネルギーへの大転換

日本は福島原発事故処理もままならない状況なのに国も電力会社も再稼働に躍起です。1923年の関東大震災以降、100人以上の死者が出た地震は15回起こっています。地震国日本で原発を事故なく稼働し続けることが可能でしょうか。事故想定・対策、事故補償、核廃棄物処分コストなどを考えても、原発は経済的に成り立ちません。

5及び6で日本の電源構成を見ましたが、原発稼働できない部分を石炭火力に頼ろうともしています。2015年4月時点の新規計画は43基、フル稼働すれば二酸化炭素の排出量は、2013年より10%増となってしまいます。

私たちの選択は「未来の時間も奪ってしまう原発、化石燃料」に頼らない暮らしづくりです。

参考書；レスター・R・ブラウン著『世界と日本のエネルギー大転換』岩波ブックレット

16. 私たちの住むまちでベランダ発電

「ベランダ発電」とは文字通りベランダで電気をつくろう！の呼びかけです。

「安全な電気を使いたい。節電したい。環境教育、防災用として欠かせない…。でもマンション暮らし…」そんな人にお勧めします。太陽との対話の始まりです。自然と人間の関係深めます。電気使用量は暮らし方のバロメータです。私たちの住むまちでベランダ発電所をつくろう。